

木村俊介
Concert

竹酔月の宴

ちくすいづき うたげ

彼の岸を想い
此の岸を行く

彼岸会、お月見、秋祭り。繰り返されてきた営みが、今ほど愛おしく、尊く感じられる時があったでしょうか。実りに感謝し、平穏を祈り、亡き人を偲んで、奏で舞われてきた芸能を基に、“今”の溢れる想いをのせてお届けします。

10代から舞台への夢を語り合ってきた加藤木 朗氏。

その加藤木氏主宰の「和力」で出会い、数々の海外ツアーを共にした小野越郎氏。

盟友二人を久々に迎え、初演演目を用意し、満を持しての公演です。

お見逃しなく。



木村俊介【笛・三味線 他】

(木村俊介 website) <https://insho.kmlw.net/>

和楽器奏者(笛・三味線他)として活動する一方、作曲・作詞・音楽監督を行う。自作曲によるコンサートでは、心象風景や心の動きをモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。また、日本各地の民俗芸能の旋法・リズムを取り入れた音楽は海外でも高く評価され、これまでに世界5大陸30カ国以上の音楽祭に招聘出演している。浦和高校卒。さいたま市在住。

- 18年 ◆多彩なゲストを迎え、音楽活動30周年記念コンサート『きせき』(さいたま芸術劇場・音楽ホール)を開催。CD『きせき』をリリース。
◆慶州「万波息笛 世界“笛”フェスティバル2018」(韓国)出演。
- 19年 ◆カヤグムの朴順雅氏をゲストに自主公演『半夏の夢のひらく頃』開催。
◆JAPAN HOUSE LONDON(イギリス)にて、ピアニストKit Downes氏とDUOコンサート開催。
◆小島千絵子氏記念公演、鼓童『千の舞』(文京シビックホール)にゲスト出演
- 20年 ◆加藤木 朗氏(舞踊・太鼓)、坂田美子氏(琵琶語り)、稲葉美和氏(箏)をゲストを迎え、怪談・奇談をテーマに自主公演を行う。(さいたま市・名古屋市)
- 21年 ◆生田さち子氏(ピアノ)・久ちゃん(チンドン太鼓)をゲストに自主公演を行う。(さいたま市・長野県山ノ内町)



ゲスト

加藤木 朗【舞踊・太鼓・大道芸】

(加藤木 朗 website) <https://www.wariki.jp/>

秋田県の劇団わらび座で生まれる。お囃子、神楽、獅子舞、舞踊など、現地保存会を取材して学んださまざまな芸能に独自のアレンジを加え舞台化している。2002年パリでクリスチャン・ディオール春夏オートクチュールコレクションに出演。自ら結成した『和力』では、篠笛奏者の木村俊介氏、津軽三味線奏者の小野越郎氏と共に、芸能と音楽を融合させた演目を発表し続けている。これまでに15か国で公演。近年では落語家の立川志の輔師匠の独演会にゲスト出演、2019年6月にはG20関係閣僚会議レセプションに出演した。

音楽家や、舞踊家、人形師、落語家、デザイナーとの共演もする傍ら、芸能の指導、舞台構成、振付、演出、原作、脚本の執筆等も手掛けている。長野県阿智村在住。



ゲスト

小野越郎【津軽三味線・囃子】

(小野越郎 website) <https://www.etsuroono.com/>

津軽三味線を山田千里師に師事。青森県は弘前にて修行を積む。劇団わらび座の三味線奏者として数々の作品で国内・海外公演に参加後独立。伝統曲・自作曲を織り交ぜたソロ演奏の他、木村俊介氏とのDUOではヨーロッパを中心に世界各地で演奏。津軽三味線の持つ力強さや独特のリズム、音色の多彩さを基に、海外音楽フェスティバルでの多くの演奏経験を活かした独自の表現を求めて創作活動を続けている。14年6月にはファーストソロCD「九つの物語」をGreenfin

Recordsよりリリース。

本公演は、自治体等が定める感染防止ガイドラインに則って開催されます。受付での消毒・検温・会場内でのマスク着用などのご協力をお願いいたします。

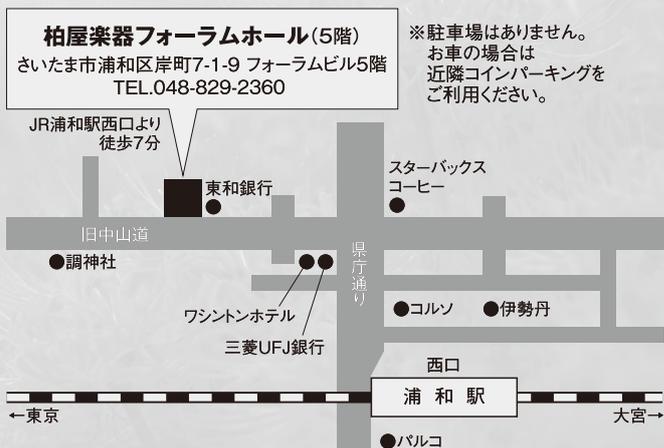
※当日、体調が優れない方は来場をご遠慮ください。キャンセル料は発生しません。

※感染拡大状況によっては定員を変更したり、公演を中止する場合があります。予めご了承ください。

ご予約
お問合せ

木村俊介
Email insho@sky.plala.or.jp
fax.048-833-7634 (9~19時)

※感染防止策の一環として、紙のチケットは作りません。当日は、ご予約名簿での受付となります。入場料は、お名前を書いた封筒に入れて(釣銭のなきよう)ご用意頂き、当日、受付ボックスにお入れください。



[企画・構成・演出] 木村俊介 [音響] 金曾武彦 [チラシデザイン・印刷] 龍共印刷株